

エピソード16

学校の出来事を保護者に伝えるとき大切なことは…



なみちゃん

小学校教師として25年以上の経験
があります。エデュサポネットのファ
シリテーターです。



小学校の先生の経験を紹介します。
どんなことがあったのか聞かせてください。

中堅教師と言われるようになった頃、
僕はふとこんな反省をしました。

子どもに対して威圧的だったのではないか、
児童理解が足りず、保護者へのアドバイスが
あいまいだったり、私の思いだけで話して
しまったりしたことがなかっただろうか・・・





先生は、そのときどんなことを考えたのですか。

子どもへの声のかけ方や、受容と共感など、専門的な知識を身につけたいと思いました。

保護者に対しても、「お母さんそれは違いますよ、こうじゃないですか」という対応では、だめだと思いました。





もう少し詳しく教えてください。

「お母さんはそういうふうに感じられているんですね」「そういう思いを持たれているんですね」といった対応が、できるようになりたいと思ったんです。

先生って、とにかく断定したくなるんですよ。





そんな思いをもたれた先生が、普段感じていることを教えてください。

先生たちが、電話で話しているとき、保護者や子どもの話を聞いているのかなと感じることがあります。

まず先生が「こういうことがあって、お子さんがこうやって、こういう対応をしてって」ってバーツとしゃべって、その後「お母さん、どうですか」ってなります。





そんな時、保護者はどう感じるのでしょうか。

保護者は、面食らってしまうのではないのでしょうか

子どもから話を聞く前であれば、状況もわからない中で、先生の話を受けて「すみません」となってしまうと思うのです。





他にも感じていることがありますか。

保護者から相談されると、それはこうですよ、お母さんやお子さんが、こうだからですよ、だからこうだったんじゃないですか・・・

このように、先生が断定してしまう状況が、結構あるように思います。それではダメなのではないか、と私は思ったのです。





先生は、どのようにしたらいいと
考えましたか。

「お子さんは何か言っていないませんでしたか」と聞いて、せめて保護者から「何かありましたか」と聞かれてから話すといいと思います。

そして「知っていましたか」など、保護者からの情報を得た中で「こういう対応をしました」と伝えるといいのかなと思うのです。





それはどのようなことなのでしょう。

保護者は、学校から電話だというだけで不安になります。その不安な気持ちを支えつつ事実を伝えないと、誤解や怒りに繋がる可能性があります。

相談された時も、心配で不安な保護者に必要なのは、先生の見立てや断定ではなく、一緒に考えてくれる教師の姿勢なのではないかと思います。





なみちちゃんの一言

- 保護者に連絡したり、保護者から相談を受けたりしたときには、保護者や子どもの思いや感情に配慮して、受容し、共感しながら伝えていくことが必要なのですね。
- 教師は、何とかしたい、解決しなければ、という思いが強くと、それが断定に繋がってしまうのかもしれない。
- 保護者からの情報を得ながら、一緒に考えていく姿勢が大切なのです。

お・し・ま・い



イラスト 尾上樹里
(北海道教育大学 大学院生)